

前回までの意見集約等

○現状や課題

〔各委員〕

- ・ 企業によって直面している課題は、残業を減らす、休日を増やす、賃金制度に取り組む等様々である。
- ・ 金沢は観光都市でサービス業が多いため、休暇が取りにくい。
- ・ 働き方改革、生産性向上という言葉は知られているが正しく理解されていない。
- ・ 今いる社員をいかに大切にしていくかが重要。
- ・ 長時間労働を是とする企業風土を変えなければならない。
- ・ 女性や障害者、高齢者が働くためには労働時間の分割（ワークシェア）が必須。
- ・ 小売サービスにおいて時間外労働が減少しない理由としては、①顧客からの不規則な要望②業務量が多い③繁閑の差が激しいことが挙げられる。

○プランの方向性

〔長谷川委員兼アドバイザー〕

- ・ 労働環境において金沢市の全国と比較した長所や短所を明確にして、「金沢市ならではの」という論点と施策を明確にすべきである。
- ・ 10年後の金沢市の働き方のあるべき姿、実現したい姿を明確に想定し、まずはそのゴールと現状との格差を認識することが重要である。この格差が各分野で存在していることを各種団体、市民に認識してもらうことから働き方改革に取り組むべきである。
- ・ 働き方改革は、人事部門だけの議論ではなく、企業戦略として取り組むべきものである。

- ・ 金沢市への提案として、
 - ① I T 化・省人化・業務プロセス化推進の日本一
 - ②付加価値額増加率の日本一
 - ③開業率上昇の日本一など、何かに特化することも必要ではないかと考える。

- ・ 「金沢らしさ」をどこに持っていきかが大きなテーマである。SDG s 17項目の中で、どの項目で金沢は世界一を目指すのか。強いところをより強くする取り組みが「金沢らしさ」につながると考えている。

〔各委員〕

- ・ 有効求人倍率だけで見るのではなく、それぞれの業種の就業者数も把握しておく必要がある。
- ・ 出生率の向上も重要な点であると考えており、金沢市がどのような位置にいるのか教えてほしい。
- ・ 人手不足の問題については、単なる残業の削減を目指すのではなく、労働生産性を伴った働き方改革を進めることで、利益の増加から好循環に向かう。
- ・ 付加価値をつけ、生産性を向上させるということが大事。
- ・ 金沢では生産性向上だけを考えるのではなく、金沢というブランドは何かを考え、住みやすさや暮らしやすさということも考慮した「金沢版働き方改革」ができると良い。
- ・ 働き方改革は、残業の削減、生きがいや働きがいを持って働くための取組。
- ・ 生産性の向上と人手不足という現場の実態も見つめながら進めていくことが重要。